

せ ん ぼ 通信 No.1

ば・あ・や・の・う・け・う・り

「白い雨」

長野県は土石流の災害が多い所です。
今年大きな被害があった村の人が
「白い雨が降った」と言っていました。
その村の古い石碑に「白い雨が降ると
大蛇（土石流のこと）が走りぬける」と
刻まれていたそうです。先人の教訓ですね。
「白い雨」って・・・どんな雨・・・？

そんなことが気になっていた7月31日
午後、この栃山神に「白い雨」が降りました。
雷鳴、突風とともに視界50m、白い膜が
張られたように川向の山は見えなくなり、
出るも入るもできないすごい勢い。一瞬
自動ドアが反応し開き、店内は雨や木の葉で
ビショビショに。いつまで降るの？・・・
雨量は？・・・山や川は大丈夫？・・・
不気味さを感じながらもただ眺めていること
しかできない怖さ。10分位で止んだので
ホッとしましたが、「白い雨」の白さは
滝の水の白さでした。

気象庁「高解像度降水ナウキャスト」で
降水予想がわかるそうです。
あやしい雲がでてきたら調べてみるのもね。

「自然酒の看板みたけど
地酒ある？」と、ウキウキ感
のおにいさまたちが来店。

「柳橋歌舞伎をみてきた帰
り」と。柳橋歌舞伎はまだみ
てないけれど、なんだかち
らまでうれしい感じ。

栃木で歌舞伎をやっていて
交流があること、鮭の頭と酒
粕をつかった郷土料理が学
校給食で一番人気があるこ
となど、陽気におしゃべり。
もちろん「田村」も買って
いただきました。

「柳橋歌舞伎」のみなさんは
学校ぐるみで練習をしたり、
保存活動の努力をしている
のはすごいですね。いつか、
みにいきます。できれば練習
もみてみたいです。

御嶽山の噴火、厳しいですね。1週間前に
息子が穂高へ登ってきたばかり。まさか・・・
とおもい、「山行っているの？」とメール。
「友人の結婚式で静岡、それでなかったらあの
辺のどこか登っていたかも」と。
素人考えで、地震より噴火の方が予知しやすい
のかと、噴火などおもわず、吾妻、安達太良、
好きで登っていました。あまいですね。
自然災害のたびに感じること・・・人間とて
「生身の地球」に仮住まいしているだけの
存在かなあ・・・と。



穂高連峰

写真・大輔